



2024年度 新入生ガイダンス



2024年4月5日

生命科学部 応用植物科学科

学科主任 津田新哉

応用植物科学科教員

教員紹介 植物医科学の基礎から最先端までのエキスパート

Clinical Plant Science



池田 健太郎 (いけだ けんたろう) 専任講師

■専門(担当)分野: 植物臨床医学、植物病理学
■経歴: 群馬県農業技術センター病害責任係長、ブラジル・パラナ州科学技術開発局(国際協力機構)専門家兼調整員、東洋大学生命科学部特任研究員
■主な業績: 野菜類土壌病害の持続可能な管理技術の開発、農業データを活用した植物病の発生生態の解明・防除技術の開発



大井田 寛 (おおいだ ひろし) 教授

■専門(担当)分野: 応用昆虫学、植物医科学
■経歴: 千葉県農林総合研究センター病理昆虫研究室研究員、同総合重点プロジェクト研究室上席研究員、千葉県立農業大学校病害虫専攻教室教員
■主な業績: 施設園芸や露地ネギにおける予防的微小害虫の生物的防除技術の開発、緑肥作物などを活用した輪作体系における病害虫管理技術の開発



大島 研郎 (おおしま けんろう) 教授

■専門(担当)分野: 植物細菌学、植物メディカルゲノム学
■経歴: 東京大学アグリバイオインフォマティクス人材養成ユニット特任助教、東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授
■主な業績: 植物病原細菌ファイトプラスマの全ゲノム解読、ファイトプラスマの病原性因子の解明など



越智 英輔 (おち えいすけ) 教授

■専門(担当)分野: 運動生理学、スポーツ科学
■経歴: オスロ大学客員研究員、明治学院大学准教授、岡山大学専任講師
■主な業績: 骨格筋の肥大および萎縮に関する研究



小畑 美貴 (おばた みき) 教授

■専門(担当)分野: 理論言語学、言語心理学
■経歴: 三重大学人文学部准教授、東京理科大学理学部准教授
■主な業績: 人間言語の文生成過程における統語演算の仕組みの解明、文処理過程における作業記憶の働き解明



鍵和田 聡 (かぎわだ さとし) 専任講師

■専門(担当)分野: 植物医科学概論、植物感染生理学、植物分子細胞生物学
■経歴: 日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科学術研究支援員、東京大学大学院農学生命科学研究科寄附講座教員
■主な業績: 植物ウイルスの病原決定因子に関する研究



佐野 俊夫 (さの としお) 教授

■専門(担当)分野: 植物生理学、ポストハーベスト論、栽培植物学
■経歴: 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教、フンボルト財団留学生
■主な業績: カリウムイオンチャンネル活性化による細胞増殖機構の解明、蛍光タンパク質を用いた植物細胞内構造可視化系の確立



津田 新哉 (つだ しんや) 教授

■専門(担当)分野: 植物医科学、植物ウイルス学
■経歴: カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター病害研究領域長
■主な業績: ビーマンモザイク病を予防する植物ウイルスワクチンの開発、持続可能な農業生産のための新たな統合的作物保護技術の開発など



鶴岡 康夫 (つるおか やすお) 講師

■専門(担当)分野: 農業経営学、農業普及論、農作業学
■経歴: 千葉県農林総合研究センター水稲適温化対策研究室室長、同流通経営研究室室長研究員、同最重点プロジェクト研究室主任上席研究員
■主な業績: 大規模稲作経営体の生産技術管理に関する研究、生産管理行動を考慮した稲作の規模拡大及び収益性に対する農場条件の影響、水稲生育予測システムの利用者受容態度とイノベーション属性など



濱本 宏 (はまもと ひろし) 教授

■専門(担当)分野: 植物病理学、植物メディカルシステム学、植物病理学概論
■経歴: 理化学研究所植物科学研究センターチームリーダー、東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授
■主な業績: 植物病原菌の薬剤耐性分子診断法の開発、植物ウイルスベクターを用いた遺伝性植物の作成



廣岡 裕吏 (ひろおか ゆうり) 准教授

■専門(担当)分野: 植物病原菌学、樹木医論、高橋生体学
■経歴: アメリカ農務省客員研究員、カナダ農務・農産食品省客員研究員、メリーランド大学客員研究員、オタワ大学客員研究員、森林総合研究所非常勤特別研究員
■主な業績: 植物病原菌の病理・分類・生態学的研究など



法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

■ 応用植物科学科について

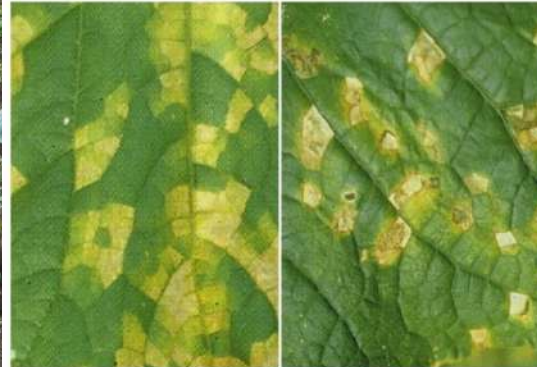
- 実社会とのつながり
- 英語力をつけよう
- 問題解決能力を鍛えよう
- 就職活動・大学院進学について
- 注意事項

植物は様々な病気にかかる



微生物病

キュウリべと病 キュウリ斑点細菌病



プリムラ・オブコニカ薬害

生理病

雑草害

セイダカアワダチソウ

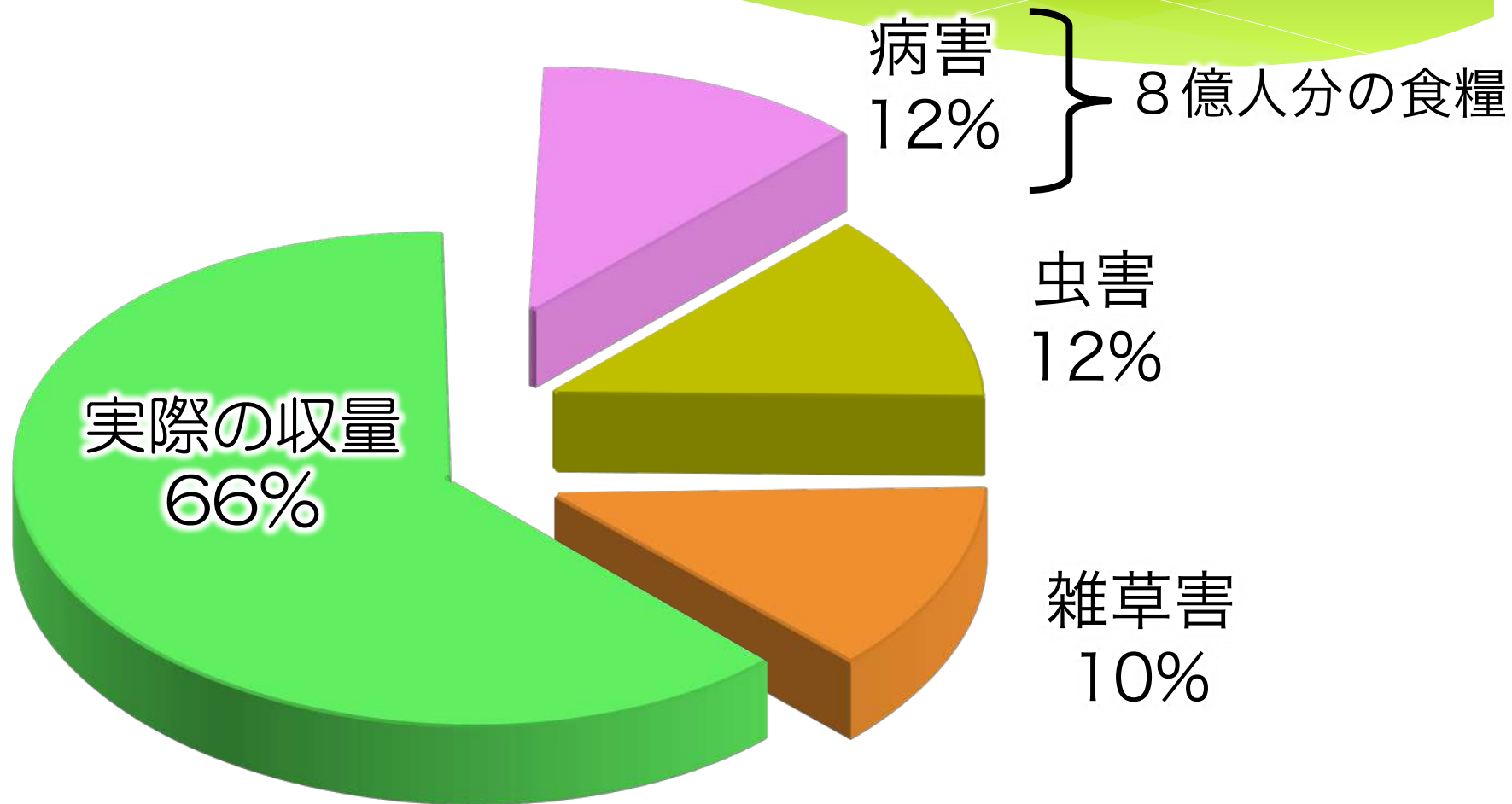


ニジウヤホシテントウ

害虫病

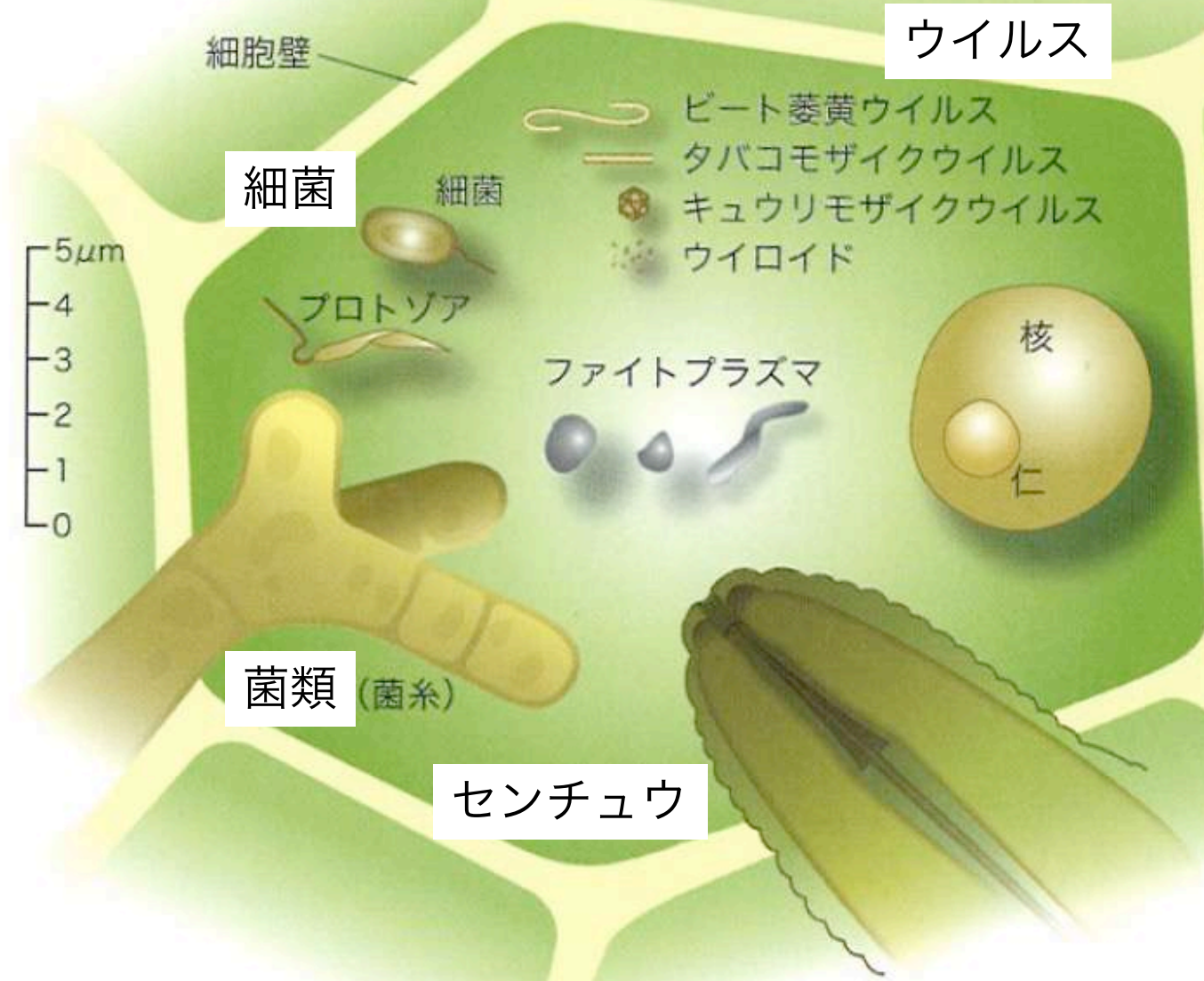
日本で発生する植物病だけでも1万種類以上！

世界の農産物の植物病による推定損失

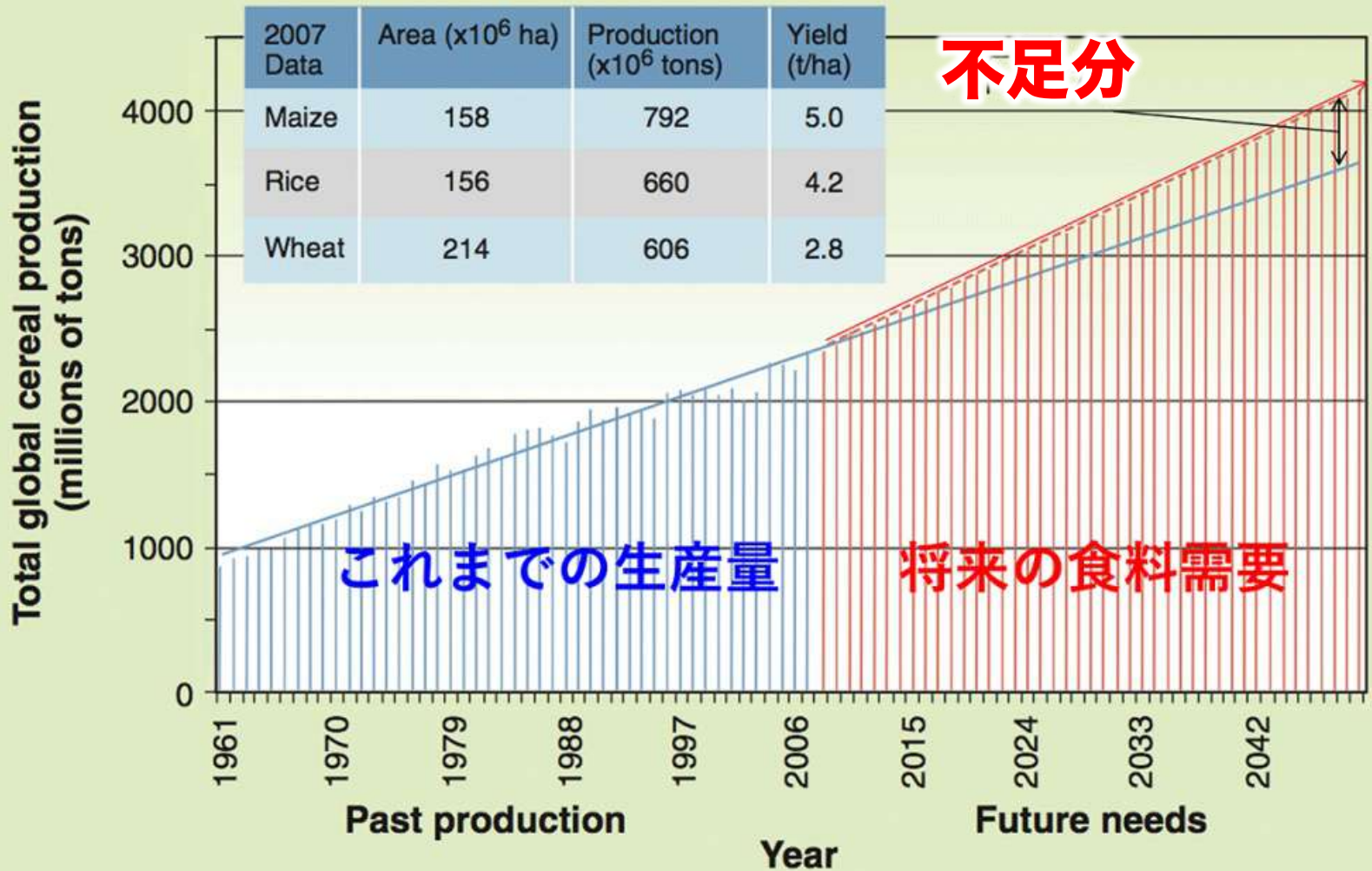


100% : 世界の作物の全生産可能量

主要植物病原微生物



世界人口の推移と農産物生産

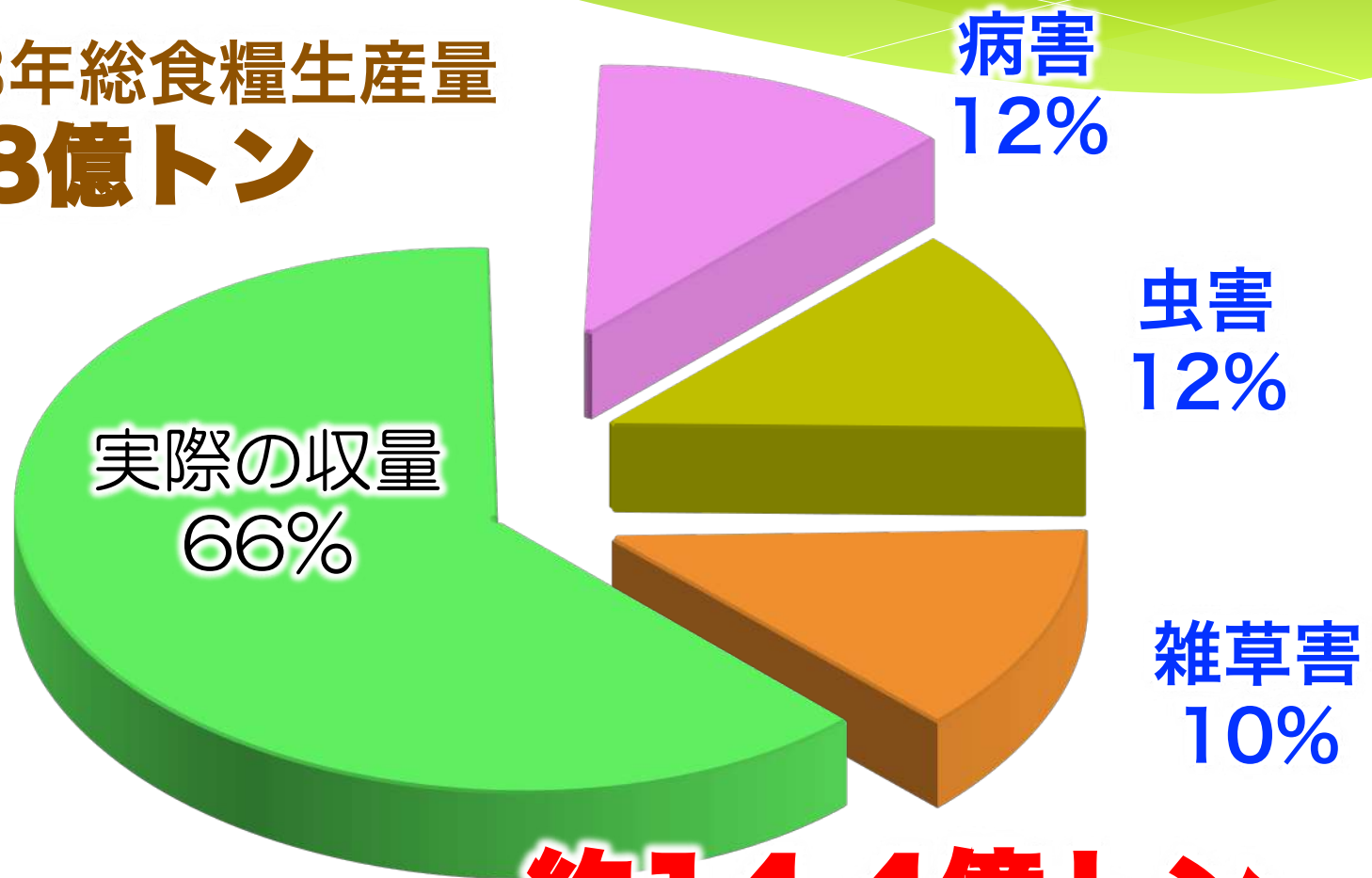


2050年までに主要穀物について
70%の生産増を達成する必要がある

Science 327: 818

世界の農産物の植物病による推定損失

2023年総食糧生産量
約28億トン



約14.4億トン
約20億人分の食糧

応用植物科学科の目指す教育

4年間の一貫教育

1年次より専門教育を行います。

実験を重視した実践的教育

1年次より専門的実験科目の履修が開始されます。

キャリア教育の充実

1年次よりキャリア教育プログラムが導入されます。

また、産業界や外部研究機関と連携したインターンシップを実施します。

即戦力となる人材養成のための教育

公的資格(技術士、樹木医、自然再生士)や理科教員免許取得をめざすプログラムを1年次より導入します。



植物医科学を通じた人類への貢献

卒業には**124単位（4年間）** 必要

履修の手引き 参照

- ・単純に割ると、1年間で31単位
- ・4年生は忙しい（就職活動、卒業研究）ので、3年生までで120単位取得を目標
（4年生は卒業研究の4単位のみにする）
⇒**年40単位（半期20単位）**を目標

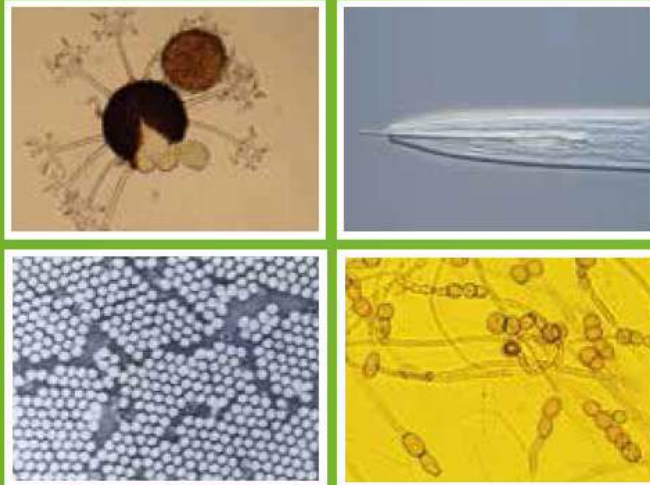
注：ただし、半期で30単位まで、年間で49単位まで（p59）

植物の健康を守る



植物を知り、植物の病原を知る

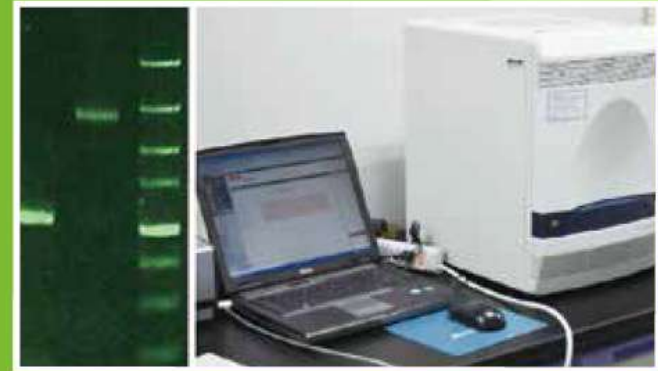
植物の健康を脅かすもの、それは微生物であったり、あるいは害虫、雑草であったりします。植物の健康を守るためには、先ず敵を知ることです。敵の中には、作物には害を及ぼしても、地球環境の中ではそれぞれに役割を持つものもあり、学んでいるうちに愛着がわくこともあるのです…。



さまざまな植物の病原

生命科学の最先端技術を学ぶ

これからの植物医科学は、分子生物学、ゲノム科学、バイオインフォマティクスなどバイオサイエンスの最先端技術や、画像解析やビッグデータ処理等の情報科学に関わる知識と技術なしでは行えません。基礎から応用まで実験実習を交えしっかり学びます。



病原遺伝子の検出と発現解析

植物医科学センター

2014年6月に創設し、教育研究成果の社会還元に取り組んでいます。種苗・造園企業などからの依頼による植物病の診断、各種の診断技術研修などを行う植物の病院です。研究室に配属された学生はこの活動に参加します。



透過型電子顕微鏡



生命科学部の校舎（東館）
応用植物科学科：5F全部

2008年9月竣工



学生実験室での 病原菌観察

ツァイス正立顕微鏡と実体顕微鏡 ひとり1セット

屋上温室での実習



応用植物科学科の目標



森林全体の枯死



全滅した野菜



植物も人類と同様、常に病気の脅威に直面しています。

毎年、世界の食料の3割から4割に相当する作物が病気によって失われています。

病害で失われた食料は、世界の8億人の人口を支える量にあたります。

応用植物科学科は、技術士等の養成をめざします。

技術士等は、生命科学の最先端の研究成果をとりこみ、植物の病気の診断や治療、
予防に関して、実践的な知識と技術を身につけた植物のプロフェッショナルです。

この植物のお医者さんを育てるために、本学科は4年間の一貫教育を実施。

これは日本で初めての教育機関となります。

法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

- 応用植物科学科について
- **実社会とのつながり**
- 英語力をつけよう
- 問題解決能力を鍛えよう
- 就職活動・大学院進学について
- 注意事項

問題解決能力

1年次の基礎教育から卒業研究での病害調査まで、実際に手を動かしながら「自分で考え、解決する」能力を養成します。



新ウイルス病害発生現場での現地調査

実社会とのつながり

2年次必修のインターンシップで植物医学の現場を学び、社会の仕組みを知り幅広い視野を身に付けます。



インターンシップで樹木のせん定

英語コミュニケーション能力

カリフォルニア大学デイヴィス校 (UCD) への短期留学 (スタディ・アブロード) 制度などを活用し、英語コミュニケーション能力を磨きます。



UCDの短期留学教育施設

これからの社会に活かす

世界の食料や環境問題を知ること

現在約70億人の世界人口は2050年には90億人を突破するといわれますが、一方で食料生産の増加率は鈍り、食料不足は必至です。世界の食料生産のうち3~4割以上を奪っている病虫害や雑草害、貯蔵病害に対処することが、今後の食料問題の解決につながります。このような食料問題や、あるいはエネルギー問題等の環境問題に植物医科学は取り組みます。



収穫を迎える野菜

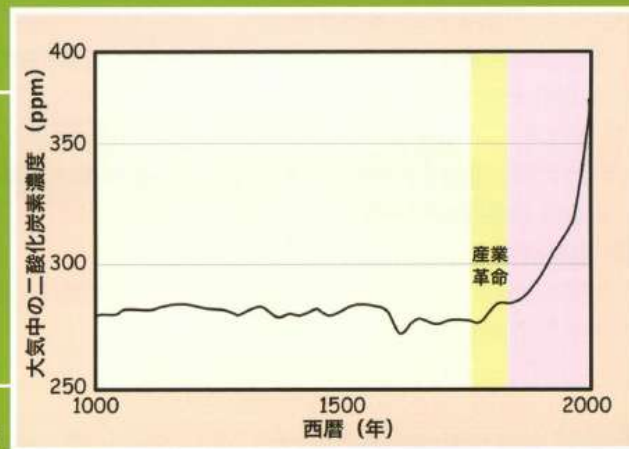
広角的な視野の育成

自然再生あるいは自然共生の中で持続的発展を目指す循環型社会の実現を地球規模で推進し、人類・社会に貢献するため、食料問題、地球環境問題、食品安全問題、国際的事業(国連関係等)に高い意識を持ち、植物病の環境保全型予防・防除を循環型社会実現と結びつける「文理融合の複眼的理解力・考察力」の涵養にも取り組みます。植物医科学の立場に立ってこれからの社会に必要な人材を育成します。



社会で活躍するために学ぶこと

1年次より展開されるキャリア教育プログラム、産業界や外部研究機関と連携したインターンシップ、現場と密着した研究、…社会と直結する充実のキャリア教育を展開し、学生の就職支援を行っています。



上昇する二酸化炭素濃度

現場に役立つ知識と技術

1年次より実験・実習重視のプログラムを行い、植物と植物の病原、そしてその防除を学びます。即戦力となる知識と技術を養います。



植物病原の顕微鏡観察



害虫と天敵昆虫を知る



大型ディスプレイを見ながら実習作業



学科が誇る
全自動空調温室

外部機関の見学

東京都農林総合研究センター見学（6月）のようす



外部機関の見学

(独)農林水産消費安全センター農薬検査部の見学（11月）のようす



農薬検査部の役割や重要性についての説明を聞く学生たち



農薬製剤の検査室での説明



農薬製剤の検査室の機器の説明



水産動植物を飼育する設備を見学する学生たち

実社会との接点応用
～植物医科学センター～

法政大学 生命科学部

応用植物科学科 植物医科学専修



法政大学
植物医科学センター

植物の生育障害に対する専門的な検査・診断を受託し、社会に貢献します

法政大学植物医科学センターの役割

当センターでは、近隣地域、農業現場の方々や自治体・企業の皆様が、植物の生育障害(病気・虫害・生理障害など)でお困りのときに、その依頼を受けて検査や診断を行い、結果を提供するとともに、指導・助言を行います。また、センターの設置母体である法政大学生命科学部応用植物科学科で育んできた研究成果を、広く社会に還元するために、中・高・大学生、中学校・高校教員、公的機関技術者、企業研究者などを対象とする研修機会の提供、植物医科学関連の出版活動や調査研究受託なども行っています。

学生・大学院生の教育の場としての機能

現在約70億人の世界人口は2050年には90億人を突破するといわれますが、一方で食料生産の増加率は鈍り、食料不足は必至です。世界の食料生産のうち3〜4割以上を奪っている病虫害などに対処することが、今後の食料問題の解決につながります。植物医科学は、このような食料問題や、あるいはエネルギー問題などの環境問題に取り組む学問であり、これを学ぶ応用植物科学科の学生・大学院生の学びの場としても、当センターの機能が発揮されています。

植物の病気/虫害/生理障害などの診断 お申し込みは簡単です

診断のご依頼は専用のホームページより受付けています。

法政大学植物医科学センター



<https://cpscent.ws.hosei.ac.jp/wp/>



このアイコンをクリック!



専門的研究で得たノウハウを使って問題解決

診断技術の研修

中・高・大学生、中学校・高校教員、公的機関技術者、企業研究者などを対象に、応用植物科学科の施設を利用して、植物病原微生物などの取扱いの基礎や専門的個別技術に関する研修機会を提供します。



出版活動

当センターの成果を広く社会に発信するための出版活動も、重要な業務のひとつと考えています。「植物医科学実験マニュアル」や「植物医科学の世界」などを発行しています。今後も引き続き優れた著書の出版を通して、社会ニーズや教育的ニーズに応えてまいります。

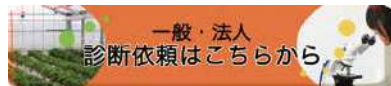


これがトップページです



1 診断フォームの入力～送信

下記のバナーをクリックしてください



一般、法人のみなまからの診断依頼の窓口です。

それぞれのフォームに必要事項や問診項目該当植物の画像添付依頼などが記載されていますので、正確に入力・添付し、確認画面で確認の後に送信してください。基本診断、個別診断、精密診断の各基本料金もホームページにて確認できます。

受領のお知らせを受け取る

受付終了後に自動返信があります。万一届かない場合は、再度お申し込みください。

2 診断～診断書の発行

センターの持つノウハウで的確診断

依頼者から提出された問診票・画像・サンプルなどに基づいて当センターのスタッフが診断をいたします。診断にあたってあらかじめ情報やサンプルをいただく必要が発生した際は、申請されたメールアドレスにご連絡します。この場合、診断書をお送りするまでの時間がわかります。



3 料金のお支払い

診断書発行時に振込口座をお知らせいたします

「基本診断」以外の診断の依頼内容については、料金予定をあらかじめご連絡します。料金を、診断書発行の際にお知らせする金融機関の口座にお振り込みください。

このような方からのご相談をお待ちしています。

- 近隣・地域の皆様
- 一般家庭の皆様
- 農業従事者の皆様
- 種苗企業の皆様
- 緑化関連企業の皆様
- 自治体の皆様

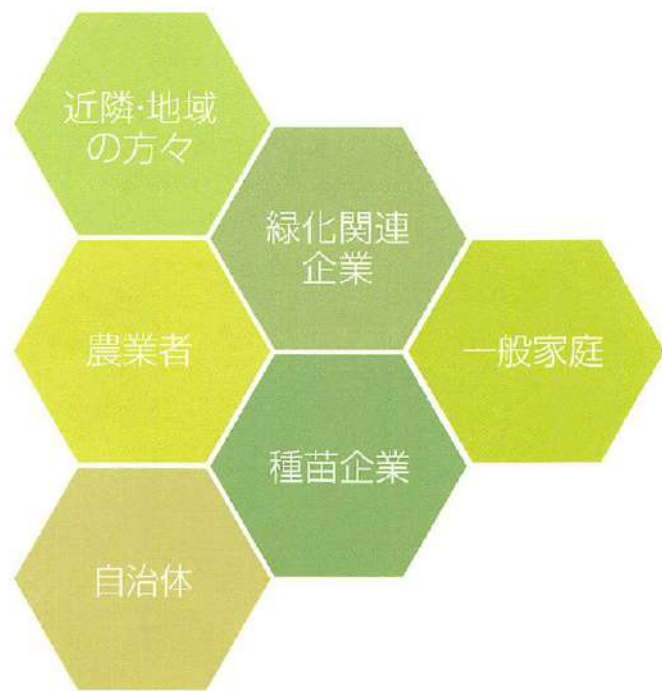
診断サービスの料金体系につきましては、ホームページをご覧ください。

法政大学植物医科学センターの業務

当センターでは、近隣地域、農業現場の方々や自治体・企業の皆様が、植物の生育障害(病気・虫害・生理障害など)でお困りのときに、その依頼を受けて検査や診断を行い、結果を提供するとともに、指導・助言を行います。

また、センターの設置母体である法政大学生命科学部応用植物科学科で育んできた研究成果を、広く社会に還元するために、中・高・大学生、中学校・高校教員、公的機関技術者、企業研究者などを対象とする研修機会の提供、植物医科学関連の出版活動や調査研究受託なども行っています。

このような方からのご相談をお待ちしています。



学生・大学院生の教育の場としての機能

現在約70億人の世界人口は2050年には90億人を突破するといわれますが、一方で食料生産の増加率は鈍り、食料不足は必至です。世界の食料生産のうち3～4割以上を奪っている病虫害などに対処することが、今後の食料問題の解決につながります。植物医科学は、このような食料問題や、あるいはエネルギー問題などの環境問題に取り組む学問であり、これを学ぶ応用植物科学科の学生・大学院生の学びの場としても、当センターの機能が発揮されています。

資格の取得・公務員試験受験をバックアップ

(1) 技術士(農業部門・植物保護)

在学中の技術士補取得を目指し「植物保護士演習」を開講。毎年技術士一次試験に多数合格。

(2) 樹木医

所定科目を履修し、卒業後申請することで樹木医補資格を取得。毎年多数名が資格取得。

(3) 自然再生士

所定科目を履修し、申請することで自然再生士補資格を取得。毎年多数名が資格取得。

(4) 公務員試験受験対応

該当科目の中で関連の講義と演習を実施。国家公務員(総合職)や都県・区・市採用試験に毎年合格者を輩出。

(5) 高等学校教諭一種免状(理科)、中学校教諭一種免許状(理科)

教職関連科目を修得することで資格取得。(教職課程認定申請中:ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の内容が変更となる可能性があります。)



必修科目「植物医科学インターンシップ」(2年生 夏)

授業目標

- 社会の活動に植物医科学がどのような形で関係しているのかを肌で感じる
 - 実際に発生する植物の病気を自らの目で観察する
 - 植物医科学に関する試験研究を体験する
-
- ✓ 将来の進路の決定に役立つ
 - ✓ 社会人として身に付けておくべき資質を体感できる
 - ✓ 卒業研究テーマなどについても幅広い視野で捉えることができる



農林水産航空協会での
インターンシップの様子

スケジュールの例

4月中旬：3年生による昨年度インターンシップの体験報告

4月下旬：インターンシップ先の希望調査票、人数調整（～5月上旬）

5月下旬～6月：受入手続き（申込書、誓約書等を提出）

7月～8月：受入先業務の事前学習・事前訪問（実習計画、服装等の打合わせ）

8月～9月：研修（期間は概ね2週間程度）

10月上旬：報告会・報告書の提出

研修先の例

- (官公庁) 農水省、環境省、横浜植物防疫所
- (農薬関係) 農水省、農林水産消費安全技術センター、日本植物防疫協会研究所、残留農薬研究所、理研グリーン研究所
- (種苗関係) トキタ種苗株式会社
- (研究関係) 農研機構、東京都農林総合研究センター、千葉県農林総合研究センター、埼玉県花と緑の振興センター
- (造園関係) 富士植木、エコル、富沢造園、高橋造園、小杉造園
- (緑化関係) 日産緑化、プラネット、京成バラ園芸部、イオンアグリ創造
- (公園関係) 森林公園、昭和記念公園、小金井公園、新宿御苑、東京都夢の島熱帯植物館、渋谷区ふれあい植物センター、東京大学小石川植物園、多摩森林科学園
- (食品関係) 日本穀物検定協会、月島食品工業、酔鯨酒造

履修について

法政大学→小金井キャンパス→生命科学部→
重要なお知らせ、まとめページ

The screenshot shows the Law School website interface. At the top, there is a navigation bar with links for '法政大学ホーム' (Law School Home), '図書館' (Library), '問合せ窓口' (Inquiry Counter), 'アクセス' (Access), 'LANGUAGE', and '検索' (Search). Below this is a dark navigation bar with three main categories: '生命科学部で学びたい方へ' (For those who want to study in the Department of Life Science), '在学生・保護者の方へ' (For students and guardians), and '卒業生の方へ' (For graduates). The main content area features a '重要なお知らせ' (Important Notice) section. The notice text reads: '[まとめページ] 新入生・在学生の皆さんへ各種ガイダンス、履修登録、学科からのお知らせ' (Summary page: Various guidance, course registration, and notices from the department for new students and current students). The notice is dated '2024年03月01日' (March 1, 2024) and is categorized under '新入生' (New Students). A small '重要なお知らせ' link is visible in the bottom right corner of the notice area.

このページから「履修の手引き」「Web履修登録」
「時間割」等を確認してください

「学習支援システム」と@std.hosei.ac.jpメール

- 授業の案内は主に、「学習支援システム (Hoppii)」で行われる。

The screenshot shows the Hoppii portal interface. At the top, there is a navigation bar with the Hosei University logo and the name '法政大学'. To the right of the logo, there are icons for '授業' (Classes) and a user profile for '佐野' (Sano). Below the navigation bar, there is a 'My Workspace' section with a dropdown menu and several buttons for different courses and activities, such as 'IISTセミナー', '修士論文', '卒業研究', '栽培植物学', and '植物医科学インターンシップ'. Below this, there are more buttons for specific courses like '植物医科学基礎実験' and '植物医科学発展ゼミナール'. The main content area is divided into three columns. The left column is titled '学習支援システム' and contains a sidebar with icons for 'プロフィール', '授業一覧', '教材', 'お知らせ', '画面設定', and 'アカウント'. The middle column is also titled '学習支援システム' and displays a notification titled 'お知らせ' (Notice) with the text '過去 365 日間のお知らせを表示' (Display notices from the past 365 days). Below the notification, there is a box indicating '157 件のうち 1 - 10 件目を表示' (Displaying 1 - 10 items out of 157 items). The right column is titled 'タスク' (Tasks) and contains a message box stating 'この場所には課題およびテスト/アンケートが現在ありません。' (There are no assignments or tests/questionnaires currently in this location).

2024年度の授業方針について

すべての授業は基本的に対面で実施する (ただし、例外はある)

2024年度以降の授業におけるマスクの取扱い等について（報告）

1 内容

2023年2月10日の政府新型コロナウイルス感染症本部による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の見直しにもとづき、文部科学省は同年4月以降、マスクの着用を求めないこと等の要請を各大学へ行った。一方、本学では、教室収容定員100%で授業を行うことや基礎疾患がある等の事情により、マスクを着用しないことへの不安を感じる学生、教職員も一定数いることが予想されることなどを踏まえ、授業におけるマスクの取扱いについては、基本的には個人の判断を尊重するが、当面の間、その着用を推奨することとしていた。

このたび、この措置を改め、2024年度以降、授業におけるマスクの取扱いについては、大学として特段の推奨は行わず、個人の判断に委ねることとする。

必修科目に注意

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育科目	学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●植物医科学概論 環境と人間 生物化学Ⅰ 分子生物学Ⅰ・Ⅱ 細胞生物学Ⅰ 生物学概論Ⅰ・Ⅱ 物理学概論Ⅰ・Ⅱ グリーンケミストリ 植物分子細胞生物学 植物薬理学 	植物細菌学 植物バイオテクノロジー概論 微生物生態学 分子微生物学 細胞構造機能学Ⅰ・Ⅱ 機器分析学 環境安全化学 植物病学概論 植物ウイルス学 分析化学 バイオエンジニアリング	食品科学 遺伝子工学 ケミカルバイオロジー 生物有機化学 物質循環化学 植物メディカルゲノム学 バイオインフォマティクス バイオマテリアル	
	学科専門科目	栽培植物学 植物管理技術論 教職化学 土壌科学 植物栄養学 教職物理学 植物病原菌類学 基礎植物害虫学 植物病防除学 国際食料需給論 グリーン経済学 <ul style="list-style-type: none"> ●植物医科学基礎実験Ⅰ・Ⅱ ●植物生産基礎実習Ⅰ・Ⅱ 植物保護士演習 生物学実験統計分析演習	<ul style="list-style-type: none"> ●診断技術論 自然再生学概論 ホーティカルチャー論 教職生物学 樹木医演習 フードセーフティ論 植物生理生態学 実践植物遺伝学 応用植物害虫学 食料・地域政策論 植物医科ビジネス論 ●植物医科学応用実験Ⅰ・Ⅱ ●植物医科学インターンシップ プレゼンテーション演習 植物医科インフォマティクス演習 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物臨床医科学 環境昆虫学 媒介システム学 植物メディカルシステム学 知的財産総論 応用動物学概論 ポストハーベスト論 植物セラピー論 植物生理病理学 雑草学 植物感染生理学 生物制御化学 植物医科学法論 グローバル環境政策論 ●植物医科学専門実験Ⅰ・Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究Ⅰ・Ⅱ

●=必修科目 無印=選択科目 ※カリキュラム表及び科目名は、変更になる場合があります。
 以上の他、語学科目・一般教養科目計171科目が準備されています。

必修科目

- 植物医科学概論 (火曜2限)
- 植物生産基礎実習Ⅰ、Ⅱ (火曜3限)
- 植物医科学基礎実験Ⅰ、Ⅱ (火曜4, 5限)

資格取得に必要な授業

	資格に必要な 実務経験等	備 考
★ 技術士補	技術士1次試験に合格 (学部在籍中に取得可)	1年次 植物保護士演習
技術士(植物保護)	技術士補として4年の実務経験	
★ 樹木医補	所定科目を履修し、単位を修得 (卒業後に申請可)	2年次 インターンシップ 樹木医演習
樹木医	1年の実務経験	
★ 自然再生士補	所定科目を履修し、単位を修得 (学部在籍中に申請可)	2年次 自然再生学概論
自然再生士	1年以上の実務経験	

3つの履修モデルコース

応用植物科学科では、

- 植物クリニカルコース
- グリーンテクノロジーコース
- グリーンマネジメントコース

の3つの履修モデルコースがある。

厳密なものではない。各自で履修計画をたてる際の参考程度。

5階 エレベーターホールの掲示板



- 学科に届いた就活情報などが掲示されている。5階に来た時は参考までに目を通すこと。

法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

- 応用植物科学科について
- 実社会とのつながり
- **英語力をつけよう**
- 問題解決能力を鍛えよう
- 就職活動・大学院進学について
- 注意事項



HOSEI University Study
Abroad Program



On-campus
International
Exchanges



法政大学のグローバル人材育成

平成26年度スーパーグローバル大学創成支援に採択。
課題解決先進国日本から持続可能な社会を構想する
グローバル大学の創成についてご説明します。



本学の構想は、多くの課題を先行的に体験し
「持続可能な社会」に対する真摯な研究と教育が行われてきた
日本の大学であるからこそ可能なものとなっています。

本学の構想名は「課題解決先進国日本から持続可能な社会を構
想するグローバル大学の創成」です。わが国の歴史、環境、文化な
どの研究拠点として、世界的な規模で多様な研究を本学に集結さ
せ、自然環境のみならず、高度な教育を通じた安定的な経済社会の持
続可能性や、長い歴史と多様な展開をしてきた文化の持続可能性
を含めた、「日本発」の持続可能な教育の確立と発信を通じて、わが
国社会のグローバル化を牽引することを目指しています。



本事業に採択された大学には、平成35年まで、事業遂行のための補
助金が支給されるとともに、外国人の積極的な受け入れや海外へ留
学する学生を増やすなど、他の採択大学とも協力してわが国の大学
の世界的なプレゼンスを高めていくことが求められています。

[詳しくはこちら](#)



ERP(英語強化プログラム)のご紹介

ERP(英語強化プログラム)は、ネイティブスピーカー講師による英語スキルの養成とその統合を目的としたプログラムです。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方や英語力をさらに伸ばしたい意欲のある方におすすめです！

注目すべきポイント！

- ・1クラス15名程度の少人数授業
(3キャンパスで対面及びオンラインで開講)
- ・授業はオールイングリッシュ
- ・listening, speaking, reading, writing の4技能統合を重視した授業
- ・受講料は無料(教材費のみ必要)
- ・受講にはTOEIC500点以上が必要
(英語が好きで、モチベーションの高い学生が多く受講します)
- ・卒業に必要な単位に含めることが可能
(所属学科の規定を要確認)

ガイダンスの日程は
次頁を参照

※詳細はグローバル教育センターHPを参照

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

ガイダンスの日程

興味のある人は
是非ガイダンスに参加し
ましょう！👉

※途中入退室自由
気軽に参加して下さい。
ください。

ガイダンスに参加が
難しい場合は、動画
視聴ができます。

興味のある人は
このチラシの連絡先まで
コンタクトしてください。

2024年度春学期

オンラインガイダンス

ERP

英語強化プログラム

1
すべて英語で
行われる授業

2
3キャンパス開講
(オンライン数ヶ所有)

3
双方向授業で
英語力アップ

募集要項・
説明会詳細
3月中旬に
HPに掲載！



ガイダンススケジュール

3月21日(木)14:00~15:00

4月10日(水)12:30~13:00 / 13:10~13:40

3月中に動画をホームページに配信します
ガイダンスに参加できない方は**必ず視聴**してください！

- 受講申込期間：4月8日(月)～4月12日(金) 24:00
- お問い合わせはグローバル教育センター、または各キャンパスGラウンジまでぜひお越しください。



グローバル教育センター国際交流課
03-3264-4088 global@hosei.ac.jp

法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

- 応用植物科学科について
- 実社会とのつながり
- 英語力をつけよう
- **問題解決能力を鍛えよう**
- 就職活動・大学院進学について
- 注意事項

学部共通科目

学科専門科目

1
年
次

- 植物医科学概論
- ・ 環境と人間
- ・ 生物化学 I
- 分子生物学 I・II
- ・ 細胞生物学 I
- ・ 生物学概論 I・II
- ・ 物理学概論 I・II
- ・ グリーンケミストリ

- ・ 植物分子細胞生物学
- ・ 植物薬理学
- 入門生物学

- ・ 栽培植物学
- ・ 植物管理技術論
- ・ 教職化学
- ・ 土壌科学
- ・ 植物栄養学
- ・ 教職物理学
- ・ 植物病原菌類学
- ・ 基礎植物害虫学

- ・ 植物病防除学
- ・ 国際食料需給論
- ・ グリーン経済学
- 植物医科学基礎実験 I・II
- 植物生産基礎実習 I・II
- ・ 植物保護士演習
- ・ 生物学実験統計分析演習

3年生への進級条件

2
年
次

- ・ 植物細菌学
- ・ 植物バイオテクノロジー概論
- ・ 微生物生態学
- ・ 分子微生物学
- ・ 細胞構造機能学 I・II
- ・ 機器分析学
- ・ 環境安全化学
- ・ 植物病学概論

- ・ 植物ウイルス学
- ・ 分析化学
- ・ バイオエンジニアリング

- 診断技術論
- ・ 自然再生学概論
- ・ ホーティカルチャー論
- ・ 教職生物学
- ・ 樹木医演習
- ・ フードセイフティ論
- ・ 植物生理生態学
- ・ 実践植物遺伝学
- ・ 応用植物害虫学

- ・ 食料・地域政策論
- ・ 植物医科ビジネス論
- 植物医科学応用実験 I・II
- 植物医科学インターンシップ
- ・ プレゼンテーション演習
- ・ 植物医科インフォマティクス演習

2年次

- 論
- ・微生物生態学
- ・分子微生物学
- ・細胞構造機能学 I・II
- ・機器分析学
- ・環境安全化学
- ・植物病学概論

- ・バイオエンジニアリング

- ・ホーティカルチャー論
- ・教職生物学
- ・樹木医演習
- ・フードセーフティ論
- ・植物生理生態学
- ・実践植物遺伝学
- ・応用植物害虫学

- 植物医科学応用実験 I・II
- 植物医科学インターンシップ
- ・プレゼンテーション演習
- ・植物医科インフォマティクス演習

3年次

- ・食品科学
- ・遺伝子工学
- ・ケミカルバイオロジー
- ・生物有機化学
- ・物質循環化学
- ・植物メディカルゲノム学
- ・バイオインフォマティクス

- ・バイオマテリアル

- ・植物臨床医科学
- ・環境昆虫学
- ・媒介システム学
- ・植物メディカルシステム学
- ・知的財産総論
- ・応用動物学概論
- ・ポストハーベスト論
- ・植物セラピー論

- ・植物生理病学
- ・雑草学
- ・植物感染生理学
- ・生物制御化学
- ・植物医科学法論
- ・グローバル環境政策論
- 植物医科学専門実験 I・II

4年次

- 卒業研究 I・II

- 3年次 6月 研究室に配属
- 4年次 7月 中間発表会
- 4年次 2月 卒論発表会

3年生の行事 研究室配属

- 4月半ばから研究室配属の説明や希望調査を開始する
- 6月上旬には配属が決定する

配属はGPA（2年次までの総合値）を優先して決定する。

植物、病原菌、昆虫が元気な3年生夏場のうちに、一通りの技術をマスターする。

応用植物科学教員

教員紹介 植物医科学の基礎から最先端までのエキスパート

Clinical Plant Science



池田 健太郎 (いけだ けんたろう) 専任講師

■専門(担当)分野: 植物臨床医学、植物病理学
 ■経歴: 群馬県農業技術センター病害虫主任係長、ブラジルポラウ科学技術協働局(国際協力機構)専門家兼調整員、東洋大学生命科学部特任研究員
 ■主な業績: 野菜類土壌病害の持続可能な管理技術の開発、農業データを活用した植物病の発生生態の解明・防除技術の開発



大井田 寛 (おおいだ ひろし) 教授

■専門(担当)分野: 応用昆虫学、植物医科学
 ■経歴: 千葉県農林総合研究センター病理昆虫研究室研究員、同総合センタープロジェクト研究室上席研究員、千葉県立農業大学校病害虫専攻教室教員
 ■主な業績: 施設園芸や露地ネギにおける予防的微小害虫の生物的防除技術の開発、緑肥作物などを活用した輪作体系における病害虫管理技術の開発



大島 研郎 (おおしま けんろう) 教授

■専門(担当)分野: 植物細菌学、植物メディカルゲノム学
 ■経歴: 東京大学アグリバイオインフォマティクス人材養成ユニット特任助教、東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授
 ■主な業績: 植物病原細菌ファイトプラスマの全ゲノム解読、ファイトプラスマの病原性因子の解明など



越智 英輔 (おち えいすけ) 教授

■専門(担当)分野: 運動生理学、スポーツ科学
 ■経歴: オスロ大学客員研究員、明治学院大学准教授、岡山大学専任講師
 ■主な業績: 骨格筋の肥大および萎縮に関する研究



小畑 美貴 (おばた みさき) 教授

■専門(担当)分野: 理論言語学、言語心理学
 ■経歴: 三重大学人文学部准教授、東京理科大学理学部准教授
 ■主な業績: 人間言語の文生成過程における統語演算の仕組みの解明、文処理過程における作業記憶の働き解明



鍵和田 聡 (かぎわだ さとし) 専任講師

■専門(担当)分野: 植物医科学概論、植物感染生理学、植物分子細胞生物学
 ■経歴: 日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科学術研究支援員、東京大学大学院農学生命科学研究科寄附講座教員
 ■主な業績: 植物ウイルスの病原決定因子に関する研究



佐野 俊夫 (さの としお) 教授

■専門(担当)分野: 植物生理学、ポストハーベスト論、栽培植物学
 ■経歴: 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教、フンボルト財団留学生
 ■主な業績: カリウムイオンチャンネル活性化による細胞増殖機構の解明、蛍光タンパク質を用いた植物細胞内構造可視化系の確立



津田 新哉 (つだ しんや) 教授

■専門(担当)分野: 植物医科学、植物ウイルス学
 ■経歴: カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター病害研究領域長
 ■主な業績: ビーマンモザイク病を予防する植物ウイルスワクチンの開発、持続可能な農業生産のための新たな統合的作物保護技術の開発など



鶴岡 康夫 (つるおか やすお) 講師

■専門(担当)分野: 農業経営学、農業普及論、農作業学
 ■経歴: 千葉県農林総合研究センター水稲選種化対策研究室室長、同流通経営研究室室長兼研究員、同最重点プロジェクト研究室主任上席研究員
 ■主な業績: 大規模稲作経営体の生産技術管理に関する研究、生産管理行動を考慮した稲作の規模拡大及び収益性に対する農場条件の影響、水稲生育予測システムの利用者受容態度とイノベーション属性など



濱本 宏 (はまもと ひろし) 教授

■専門(担当)分野: 植物病理学、植物メディカルシステム学、植物病理学概論
 ■経歴: 理化学研究所植物科学研究センターチームリーダー、東京大学大学院農学生命科学研究科特任准教授
 ■主な業績: 植物病原菌の薬剤耐性分子診断法の開発、植物ウイルスベクターを用いた遺伝性植物の作成



廣岡 裕吏 (ひろおか ゆうり) 准教授

■専門(担当)分野: 植物病原菌学、樹木医論、高橋生体学
 ■経歴: アメリカ農務省客員研究員、カナダ農務・農産食品省客員研究員、メリーランド大学客員研究員、オタワ大学客員研究員、森林総合研究所非常勤特別研究員
 ■主な業績: 植物病原菌類の病理・分類・生態学的研究など



3年生の行事 就職活動の準備

夏休みのインターンシップが盛ん

(エントリーシート締め切りは7月)

夏休みのインターンシップに行かなくても就職はできるが、友達が行き出すと気になる。

インターンシップに行く必要があるかどうか判断する

面接では卒業研究について聞かれる

←本業をこなせているかを見られている

4年生の行事 卒業研究

7月に中間発表（卒業研究I）

12月に卒論要旨提出

1月に卒論発表会

2月に卒論提出（卒業研究II）

本職である「卒業研究」ができる人は、企業に入っても企業の仕事ができる。

←面接で卒業研究について聞かれるのはそのため

2016.02.08

2015年度 卒業論文および修士論文発表会を行いました



発表会の様子



質疑応答の様子



学部の表彰式



大学院生の表彰式

学位授与式 (2024.3.24)



法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

- 応用植物科学科について
- 実社会とのつながり
- 英語力をつけよう
- 問題解決能力を鍛えよう
- **就職活動・大学院進学について**
- 注意事項

4年生の行事 就職活動

■ 縁のある企業にたどり着くまで歩き続ける

立ち止まったらたどり着けない

休憩は大事

方向転換はありうる

大学院進学希望者もすでに研究面での就活は

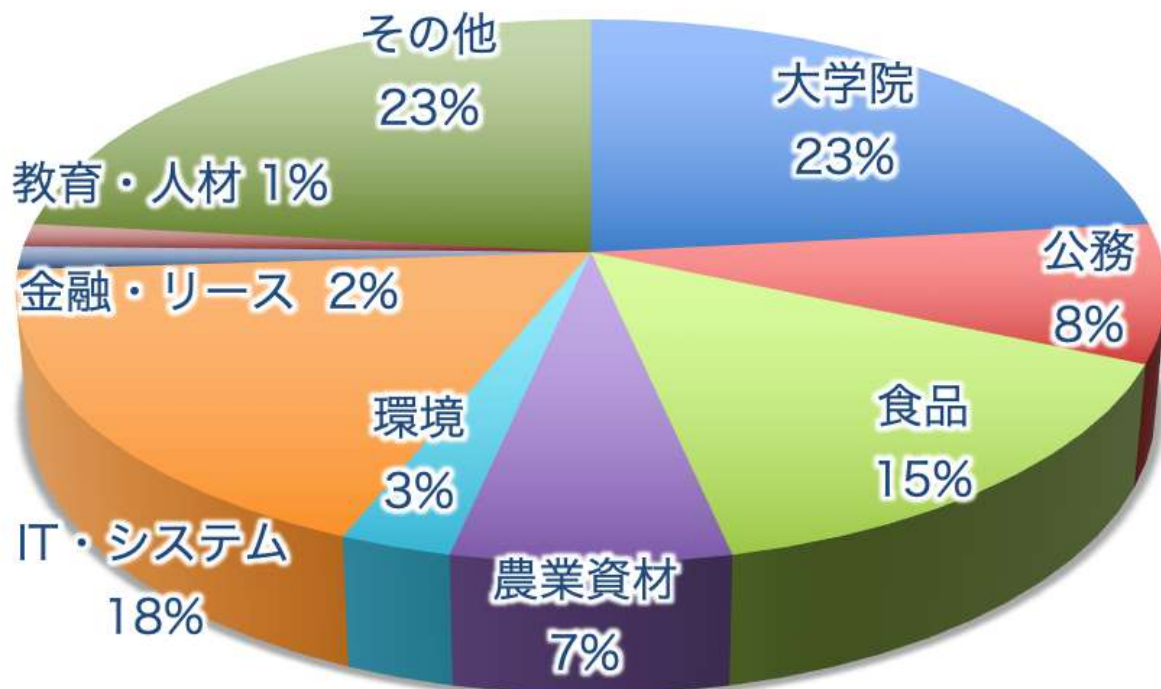
始まっている

2年間のアドバンテージが無い人は採用する理由が無い

卒業後の進路

卒業後の主な就職先

2023年度 卒業後進路



農林水産省、林野庁、経済産業省、国税庁、東京都、埼玉県、千葉県、福島県、山梨県、など、日本植物防疫協会、残留農薬研究所、全農（本所、県本部等）、サントリー、マルハニチロ、日清オイリオ、山崎製パン、丸大ハム、キーコーヒー、三井化学アグロ、クミアイ化学、協友アグリ、北興化学、サカタのタネ、カネコ種苗、アース製薬、フマキラー、積水樹脂、日産緑化、等々

農業・食料を支える人材を育成。
ただ、近年はITが多い

就職活動の支援

大学としての支援

小金井キャリアセンター

- ・ 各種研修会
- ・ 企業説明会

学科としての支援

- ・ 授業
(植物医科ビジネス論ほか)
 - ・ ・ ・ 関連会社の広報、人事担当などを招く
- ・ 資格の取得をバックアップ
- ・ 就活パンフ作成
 - ・ ・ ・ 2,000社に配布
- ・ 公務員受験ガイダンス
- ・ キャリアアップガイダンス
(2年次、3年次の2回開催)

研究室としての支援

面接・グループ討議の演習、
プレゼン演習、企業紹介など

大学院進学

5つの メリット

1 基礎学力・ 知的体力の向上

大学院での講義および研究を通して、基礎科目・関連科目の本質的な理解や創造性が育成され、多角的な視野から専門分野の知識・理解が深まり、技術者・研究者としての資質が向上します。

2 研究に関する 専門的および グローバルな体験

大学院における研究成果の専門・関連分野での国際会議、シンポジウムおよび交流会等でのポスターセッションやプレゼンテーション発表により、国際的な研究交流の体験が可能です。

3 研究成果の発表および 修士・博士論文執筆を 通じた、研究および キャリアスキルの向上

論文投稿の準備や修士・博士論文作成により、研究力や問題点の把握能力が育成され、また、英語レベル、プレゼンテーション能力やリーダーシップ能力の向上により、就業スキルがアップします。

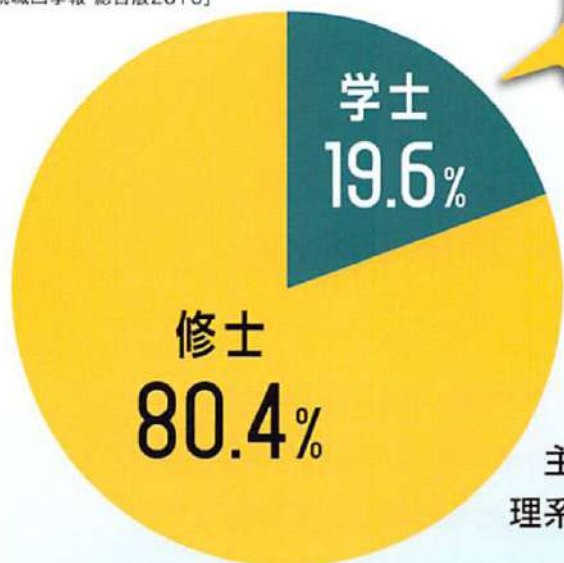
5 職業選択 自由度の向上

大学院での研究や講義による経験を活かすことにより、研究職や技術職へのキャリアパスのチャンスが広がり、専門分野を含む関連企業、各種研究所等、就職の幅が広がります。

4 横断的な学問領域の 把握による エンジニア総合力向上

これからの持続可能で環境にやさしい国際的なエンジニアには、専門分野のみならず関連分野の知識や学問領域での実践的経験が必要であり、大学院での学びは必須です。

就職データ



主要企業における理系学生採用状況は、修士の学生が圧倒的に多く採用されているのが現状です。将来、主要企業の技術職として社会での活躍を目指す方は、大学院への進学を視野に入れるとよいでしょう。

主要メーカー・情報系企業の
理系学生採用内訳 (過去3年)

大学院生への特色あるサポート

法政大学大学院では学費の大幅な値下げ (2010年度～)をはじめ、奨学金やさまざまな研究助成制度を導入することで大学院生の研究活動を経済面、制度面から支援しています。

実際の教育現場でアシスタントを務めながら報酬を得るT・A (ティーチング・アシスタント) 制度は、将来教育・研究に携わる上で良い経験となるでしょう。

- 専門性を生かした就職先の門戸が広がる
- 慣れた環境や研究テーマで継続して研究できる
- 近隣の同規模私立大学に比べて、学費が安い
- T A 制度 (学生実験等のアシスタント) など、経済的サポートが充実

未来への貢献 植物医科学を通じた人材育成



法政大学 生命科学部



応用植物科学科

植物医科学を学ぶ

2024

GUIDE BOOK



Faculty of Bioscience and Applied Chemistry
Department of
Clinical Plant Science
- Learning clinical plant science -
HOSEI UNIVERSITY

- 応用植物科学科について
- 実社会とのつながり
- 英語力をつけよう
- 問題解決能力を鍛えよう
- 就職活動・大学院進学について
- **注意事項**

不正行為に対する処分 1

不正行為様態	処分内容
<p>① 計画性の弱い、または偶発的な不正行為</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none">a. 他人の答案の覗き見b. 問題・答案用紙配布後の話し合いc. 参照可の資料等の貸借d. 不審な挙動を注意した監督者の指示に従わないe. 答案の持ち帰り	<ul style="list-style-type: none">○ 厳重注意、譴責または1カ月未満の停学○ 当該科目は無効（E評価）
<p>② 計画性が強い、または意図的な不正行為</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none">a. 参照不可の試験でカンニングペーパー使用b. // 机上への書き込みc. // テキスト・ノート等の閲覧d. 参照可の試験で許可されたもの以外の参照・使用e. 許可されていない機器（携帯電話・スマートフォン等）の持ち込み、使用。f. 答案用紙の交換（行為の態様により③の受験依頼に該当）g. 組織的なカンニング行為	<ul style="list-style-type: none">○ 停学1カ月以上3カ月未満○ 当該科目は無効（E評価）に加え、原則として当該学期全履修科目の受験を無効（E評価）
<p>③ 受験依頼（いわゆる替え玉受験）</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none">a. 依頼された他人が本人になりすまして受験（本人の学生証使用）b. 答案提出直前に依頼した学生の氏名に書き換えて提出	<ul style="list-style-type: none">○ 停学3カ月以上6カ月未満または無期停学○ 当該学期全履修科目の単位を無効（E評価）

不正行為に対する処分 2

不正行為様態	処分内容
<p>①剽窃（ひょうせつ）行為 例： a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに限定的に流用した</p>	<p>○嚴重注意または譴責</p>
<p>②悪質な剽窃（ひょうせつ）行為 例： a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに流用した b. 他人と示し合わせ、他人とほぼ同一の内容で課題を作成し提出した c. 他人が作成した論文等を、自己の氏名に書き換えて提出した d. 指導にも関わらず繰り返し剽窃行為を行った</p>	<p>○停学3カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）</p>
<p>③代筆依頼 例： a. 論文・レポート等の作成を代行する企業・個人等の他者に作成を請け負わせ、納品物を自己が作成したものとして提出した</p>	<p>○停学3カ月以上6カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）</p>
<p>④その他不正行為 例： a. データの捏造（ねつぞう）、改竄（かいざん）。</p>	<p>○停学3カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）</p>

不正行為に対する処分 3

不正行為様態

処分内容

①代返行為・虚偽申告

例：

- a. 他人に依頼し自己の出席報告を行わせた
- b. 他人から依頼を受け他人の出席報告を行った
- c. 出席報告書（出席カード等）の偽造により提出した
- d. 欠席理由に係る証明書類（診断書等）を偽造または虚偽の内容により提出した

※出席報告には、口頭によるもの、出席カード等紙面によるもの、学生証の情報を読み取るもの、各種システムを介して行うもの、いずれも含む。

○厳重注意、譴責または1カ月未満の停学

- 出席管理における不正行為（代返）
（頼んだほうも頼まれたほうも処分対象）
- コピペはHoppiiの検査ソフトで瞬時に判明
- 酩酊状態での授業出席も不適切な授業態度として処分

飲酒・喫煙に関する注意

喫煙に関する事件

キャンパス内の喫煙場所は4か所

(東館入口テラス、部室棟出口、
事務棟西、北館の南側テラス)

飲酒に関する事件

キャンパス内は飲酒禁止

マルチメディアホールでは

カードゲーム等禁止

深夜のアルバイトに注意

飲食店等、**深夜にかかるアルバイト**はなるべく避ける

レポート提出遅れ、授業中の注意力不足、につながる

注意！

2018年12月10日夜10時〜11時に、公認団体に所属する10数名の学生達が、けやき門前コンビニ店駐車場で、飲食・飲酒し、騒ぎ・踊り、コンビニ店の器物を汚損し、帰学しました。小金井キャンパスは住宅地に立地しています。この行為は、近隣住民への迷惑行為であり、コンビニ店への営業妨害行為です。また、飲酒した学生達が帰学するという行為は、本学の飲酒ルール「キャンパス内での飲酒は原則禁止」への違反行為です。

大学は、この公認団を1・5ヶ月間の活動停止処分としました。

学生の皆さんには、小金井キャンパスの飲酒ルールを再度確認するとともに、大学生としての自覚を持ち、マナーを守り、常識と節度ある行動をとるよう、強く望みます。

2019年3月14日

小金井学生センター長



学生相談室は…

修学

学生生活

自己

対人関係

心身健康

進路



詳細は
手元のしおりや
HPで！

キャンパスライフ
のところです！

みなさんが、大学生活を送って行く中で出会うさまざまな問題について、カウンセラーに相談しながら、成長できる場所です

管理棟4階の診療所隣りです

学生実験（火曜日3～5限）に関する連絡事項

- 生産基礎実習と植物医科学基礎実験の場所
..... **東館5F学生実験室**
- 上履き（サンダル、上靴等）の準備。5Fフロアは土足厳禁。（5階に1人1個ロッカーがあり）
- 白衣の準備（生協で購入できる；すでに持っている人は新規に購入の必要なし）。
- 4/9（火）は、「ノートPC」を持参すること。
Hosei-wifiへのログインの方法を確認しておくこと。
ID（学生証番号）とパスワード（情報センターより配布）が必要。
- 4/16（火）の生産基礎実習に長靴を持参。圃場脇の物置に長靴置き場を準備。

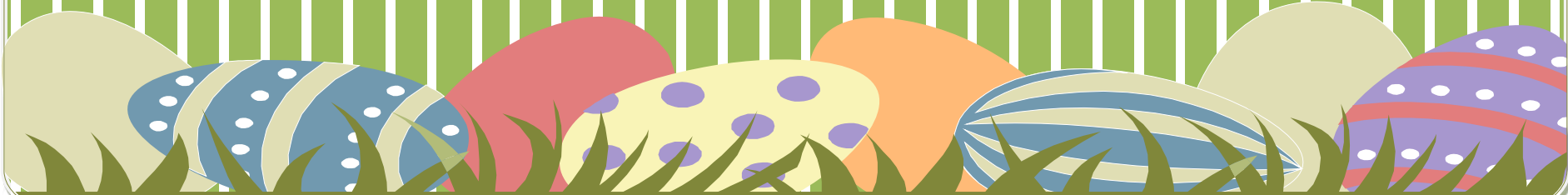
ラーニングサポーターはじめます

ラーニングサポーター（応用植物科学科2年生）がレポートや授業の課題についての質問を受付けます。

月～金の12:30～13:20（4/8より開始）

**東館5階エレベーターホールで
対面でおこないます。**

また、課題以外にも、授業の履修のしかたやレポートの書き方など、キャンパスライフ全般に関しても相談に乗ってくれるかもしれません。是非訪問してみてください。



5階 エレベーターホールの掲示板



- 講義や実験などについての重要な連絡事項が掲示されますので、頻繁にチェックするようにして下さい。

教科書販売

実験室から「診断・対処」へ 植物医科学を実験を通して学ぶ

基礎的な手技・作法から最新の遺伝子解析技法まで
植物医科学実験の
すべてを分かりやすく解説
待望の「増補改訂版」!!

〔増補改訂版〕の特徴
①実験の実態に沿った内容に変更
②特目に沿った図解的な新稿ノートと
コラムを8割増追加
③より親愛的に新稿の図 21点を追加
④総ページ数は41ページ増

増補改訂版

植物医科学叢書 No. 8

植物医科学実験マニュアル

植物生育障害の基礎知識と臨床実践を学ぶ

監修 高橋 徹 / 編者 須田 直樹
編集 菊江 博道 / 藤村 健 / 中山 哲一 / 橋本 光司
法政大学 植物医科学センター
一般社団法人 農林先端研究所

第1編 植物医科学実験の基礎知識
第2編 植物医科学実験の実験



「法政大学植物医科学センター」
創設10周年記念出版

2023年4月5日発売予定

大誠社

7,800円

昨年度、
改訂版を発行

学生実習（必修）
の実験マニュアル

植物医科学概論
（必修）の教科書

この2冊は必携

7,800円 + 7,000円 = 14,800円のところ、
今回は送料込みで12,500円で販売



植物医科学の世界

—植物障害の診断を極め、食料・環境の未来を拓く—



監修 西尾 博
編者 菊江博道 / 橋本光司 / 藤村健樹

法政大学 植物医科学センター
一般社団法人 農林先端研究所

7,000円



7,800円

2年次
「樹木医演習」
の教科書



2年次の
「樹木医演習」
を履修する場合
は必要

生協ではなく、
チラシ記載の
メールアドレス
で業者さんに直
接注文してくだ
さい。

3冊だと、7,800円+7,000円+7,800円=22,600円のところ、
今回は送料込みで16,500円で販売

応用植物科学科 「新1年生」の皆さんへ

応用植物科学科1年次「植物医学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」等、「植物医学概論」、
2年次「樹木医演習」の教科書販売のお知らせ

応用植物科学科 学科主任

下記のとおり、応用植物科学科の1年次科目「植物医学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」等、「植物医学概論」、2年次科目「樹木医演習」に用いる教科書について、大学生協による教科書販売ではなく直接販売を行います。皆さんから出版社に直接連絡して「宅配便による代引き」の扱いによって、必要な教科書を手手してください。

(注文締切 4月7日 (日) 厳守)

*この割引価格での販売は新入生向け販売の1回だけです。忘れずに購入してください。

●本の説明 (価格は定価で示してありますが、次項の「セット割引価格」で頒布します)

- 植物医学叢書8「増補改訂版 植物医学実験マニュアル」 定価7,800円
*植物医学基礎実験Ⅰ・Ⅱ(1年)、同・応用実験Ⅰ・Ⅱ(2年)、同・専門実験Ⅰ・Ⅱ(3年)
(いずれも必修科目)の教科書;卒業論文・修士論文研究の際にも役立ちます。
- 植物医学叢書3「樹木医とはじめ」 定価7,800円
*「樹木医演習」(2年次秋学期;樹木医補資格取得の必須科目)の教科書;
緑化・環境系の就活用参考書としても役立ちます。
- 植物医学叢書4「植物医学の世界」 定価7,000円
*「植物医学概論」(1年次春学期;必修科目)の教科書として使用します。
他教科・大学院の参考書としても役立ちます。

教科書の書評は植物医学センターのサイトで読めます。 <https://cpscent.ws.hosei.ac.jp/publication>

●セット販売 (下記2つの選択肢いずれか+送料500円;代引き等の手数料は出版社負担)

- ・ 3冊セット:「叢書8(実験マニュアル)+叢書3(樹木医)+叢書4(植物医学)」
定価合計 22,600円
→ 法政学生価格 16,000円(定価に対して29%引き)+500円=16,500円
- ・ 2冊セット:「叢書8(実験マニュアル)+叢書4(植物医学)」
定価合計 14,800円
→ 法政学生価格 12,000円(定価に対して19%引き)+500円=12,500円

●問い合わせ先:応用植物科学科 鍵和田聡(kagiwada@hosei.ac.jp)

.....(以下、申し込み内容欄).....

以下の項目をすべて記入し、info@taiseisha.jp宛て電子メールにて申し込むこと。

(注意:添付しないで、メール文として送信すること)

法政大学応用植物科学科の教科書の購入を以下の通り希望します。

学生証番号 _____ 氏名 _____

届け先: 郵便番号 _____ 住所 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

注文の書籍セット(送料含む;いずれか一方を残して、他方を削除)

- ・ 3冊セット:「叢書8(マニュアル)+叢書3(樹木医)+叢書4(植物医学)」+送料= 16,500円
- ・ 2冊セット:「叢書8(マニュアル)+叢書4(植物医学)」+送料= 12,500円

配布の「お知らせ」に記載の必要事項を 記入し
info@taiseisha.jp へ送信して、各自、
注文をしてください。

注文締切:4/7(日)
=本日中(時間が無くてすみません)

(この割引価格での販売はこの1回のみ)

注文し忘れた場合は、
生協等で定価で購入できます。

キャンパスライフをエンジョイしよう！

